

浄土真宗本願寺派 (西本願寺) 信成寺



寺報 仏陀いずむ

2011年7月25日発行(第3号)

焼香のイ・ロ・ハ

葬儀や法要の時、焼香をどのように行っていますか?お香をおでこに頂いたり、2回焼香したりしていませんか。中には焼香のやり方が分からず、お香を食べてしまった方もいるようです。

浄土真宗の焼香作法はとても簡単でシンプルです。基本は下の図の(イ)、(ロ)、(ハ)のとおりです。

まず、お香をひとつまみします。次に、つまんだお香をそのまま香炉の中の炭の上にパラパラとまきます。最後に合唱礼拝で締めくくります。

注意する点は、お香をおでこに頂かない事と、焼香を2回も3回も余分にしない事です。なお、(イ)の前と(ハ)の後で本尊に向かって一礼すれば、より丁寧な焼香作法になります。



そもそも、焼香はいったい何の為にするのでしょうか。焼香は、亡くなった方に向かって「安らかにお眠り下さい」といった気持や、「何か良いことがありますように」といった思いで行うものではありません。

法要は仏教ついての学びの場です。仏教に触れ、自分自身の生き方を見つめなおします。 お香の良い香りは、気持を落ち着けリラックスさせてくれます。気持が安らげば、それだけ 考えも深まります。つまり、焼香は仏教を学ぶための下準備なのです。

次回、焼香するときは是非、「焼香のイ・ロ・ハ」を実践してみて下さい。

净土真宗本願寺派(西本願寺)信成寺 〒425-0087 焼津市保福島 602-2

> Tel: 054-628-8101 Fax: 054-639-9898

http://www.ne.jp/asahi/shinseiji/tera